

弱点補強プログラム



苦手分野を克服する道場&基礎講義

● 論文道場 (都庁論文道場 2019/10/8 開講・特別区論文道場 2019/10/15 開講)



公務員試験は「人物重視」の傾向が顕著で、面接試験とともに受験生の論理的思考力・文章表現力を直接試すことができる論文試験(教養論文、行政課題論文などと呼ばれています)の比重がとて高くなっています。択一試験に目を奪われ、論文対策を怠っては合格することができません。

喜治塾の名物講座『論文道場』では「問題に対峙し、解決策を考える力」と「自分の考えを文章で表現し相手に伝える力」を半年間かけて養成していきます。講義と演習を繰り返し、必ず論文力は上達していきます。(隔週火曜日 19-20 時半)

● 時事道場 (2019年11月開講予定)

時事問題は教養試験において、都庁で5問、特別区で4問出されるなど、教養の知識分野での貴重な得点源です。教養試験だけではなく、教養論文や面接、集団討論のネタになることも多いです。

「普段から新聞を読んでいればいいと言っても、その他の対策で手が回らない…」

そのような受験生のために喜治塾では要点を抑えてフォローしていきます。



● 文章理解道場 (2019年11月開講予定)

文章理解でガッチリ満点をとることが教養試験合格のコツです。

数的推理や判断推理も大事ですが、文章理解での2点、3点のとりこぼしを数的や判断でカバーすることは困難です。逆に文章理解で満点をとっておけば数的や判断で2~3問できなくても問題ありません。

本道場では、問題を解きながら、現代文の読解の仕方、選択肢の切り方を実践的に教えます。

とくに「並べ替え問題」では、最短時間で正解することができる秘伝の解き方を伝授します。

● コミュニケーション道場 (2019年12月開講予定)

面接の倍率が2~3倍になっている現状からしてその重要性は明らかです。

この道場では講義ではなく、作業や話し合いをまじえたワークショップ形式で行うのが特徴です。

自分の頭で考える力を養うとともに、協働作業の中で新たな発見をし、

コミュニケーション能力を高めることに力点を置いています。

「面接が苦手・・・」という方は強く受講をお勧めします。



● 数学道場 (数学やり直し講座) (2019年12月開講予定)

公務員試験では避けて通れない数的推理。速さ、比、割合、濃度、因数分解、順列・組合せ・・・

苦手だからと言ってただやみくもに小・中学生用の問題集をやっても、「合格」に直結しません。

公務員試験で合格するために必要なことに的を絞って、基礎の基礎レベルから順を追って、

ナットク、ナットク、ナットク・・・となるようにゆっくり、「途中式を飛ばさない」解説をします。

この教室は、数学に自信ある人はお断りします。

問題集などの「解説を読めばわかる」という人はこの教室に参加しなくてもいいでしょう。

「解説を読んでもよくわからない…」という人のための講座です。

